

学校教育目標（生徒育成方針） 1 自他を尊重し、他者と協働できる人間の育成 2 当事者意識を持ち、粘り強く挑戦する人間の育成 3 答えのない課題を解決するために行動する人間の育成 4 広い視野に立ち、未来を想像・創造できる人間の育成
人権教育推進上の目標 (1) 教職員の人権教育についての認識を高め、生徒の意識を高める活動ができるようにする。 (2) 進路保障の取り組みの充実・強化を図る。 (3) 個々の人権が尊重される環境を整える。

具体的目標・方策	
① 子どもたち一人一人の学びの保障 ・人権教育H Rの内容は指導案作成時に学年部で吟味し、目の前の生徒に必要な内容の実施 ・進路保障を実現するため、個々の進路に合わせたコース選択（次年度のコース選択を進路検討会等で検討） ・分かりやすい授業づくり（授業アンケートや公開授業を利用、少人数指導） ・安心して過ごせる学級・学校づくり（安心・安全アンケートやQUアンケートの利用） ・就学支援制度の確実な伝達と手続きの支援（事務室との連携） ・奨学金制度の確実な伝達と手続きの支援（奨学金担当との連携） ・個に応じた必要な支援の提供（特別支援コーディネーターとの連携）	② 人権が尊重される環境づくり ・社会の中にある差別事象に気づき、それらを無くして自他の人権を守ろうとする力を養えるよう、朝終礼や全教科の授業、部活動、交流センターの生活の中で推進 ・学期に1回人権教育H Rをもうけ、学年部で指導案を作成することで教職員の人権意識を向上させ生徒へ還元 ・教職員集団づくり（人権感覚を磨くための人権教育や特別支援教育の研修充実、職員室の良好な雰囲気づくりの取組） ・教育相談活動の充実（安心安全アンケートを利用していじめや悩み事を早く察知することができる環境づくり、QUアンケート結果を利用した気になる生徒の共有、S Cの活用と連携、生徒支援委員会等による情報共有の徹底等）

生徒に身に付けさせたい資質・能力

③ 人権に関する知的理解と人権感覚の育成	人権に関する知的理解		人権感覚	
	知的側面	価値的・態度的側面	価値的・態度的側面	技能的側面
一学年	・新しい人間関係を構築するためのマナーの理解 ・ハンセン病や身近な差別を学ぶことを通して偏見の不合理性に気づき行動することが自他の人権を守ることにつながることの理解	・自他を尊重しようとする意欲や態度 ・不合理な差別や偏見に気づき、差別や偏見を許さない態度 ・差別事象は自分に向けられる可能性があると感じる態度	・より良い人間関係を構築するためのコミュニケーション技能 ・身近な差別や偏見に気づく感性と気づいたとき適切な行動を選択する判断力	
二学年	・部落差別の歴史と現代の差別の実態を学び、その問題が、時代とともに変容しながらも現在まで続いていることへの理解 ・LGBTQ差別や部落差別などを含めた身近な差別の概要や問題点の理解	・自他を尊重しようとする意欲や態度 ・不合理な差別や偏見に気づき、差別や偏見を許さない態度 ・差別事象を自分事として考える意欲や態度	・より良い人間関係を構築するためのコミュニケーション技能 ・身近な差別や偏見を見抜き、自分事であることに気づく感性と適切な行動を選択する判断力	
三学年	・個々の感性は異なることを理解し、他者の視点に立ち多様性を受け入れることが、一人ひとりを尊重した社会形成につながることを理解	・自他を尊重しようとする意欲や態度 ・差別や偏見を見抜き、それを批判的に捉える視点 ・差別事象を自分事として考え、解決に向けて取り組む意欲や態度	・より良い人間関係を構築するためのコミュニケーション技能 ・差別や偏見に気づき、それを許さない適切な行動を選択する力と周りへも働きかける力	
学習指導	・多様な考え方や感じ方、文化等を知ることで、多様性を受け入れたり協働したりすることの利点の理解 ・教材等を通して、様々な人権課題の概要や問題点の理解	・多様性を認め合いながら学び高め合おうとする態度 ・人権課題に対して科学的・論理的に思考しようとする意欲や態度	・能動的な傾聴、適切な自己表現を可能とするコミュニケーションの技能 ・情報を吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能	
生徒指導	・情報モラルの講話や身だしなみ指導等を通して集団生活に必要なルールやマナーの理解 ・安心安全アンケートによって自他の安全を守るしくみの理解	・集団生活に必要なルールやマナーを尊重しようとする意欲や態度 ・自分の周りで起こっている偏見や差別事象を自分事として考え、解決に向けて取り組む態度	・集団内で自他を尊重しながら関係を築く技能 ・自他の安全を守るために、相談する力	
進路指導	・一人ひとりが未来を切り拓いていくための進学先や就職先についての理解 ・進路保障を可能にするための就学支援や奨学金についての理解 ・進路先を受験した際に遭遇するかもしれない差別事象に対する理解	・自分の進路を切り拓いていくための情報を収集する意欲や態度 ・就学資金や奨学金の情報を自分事として感知する態度 ・進学や就職での差別的な事象を感知する態度	・複数の情報を収集・分析して適切な進路を切り拓く技能 ・就学資金や奨学金の情報を利用して未来を切り拓いていく判断力 ・差別や偏見を見抜き自他を守るために適切な行動をとる判断力	
総合的な学習の時間	・地域の様々な人や事柄に出会い、地域の現状や課題についての理解 ・広い視野を身につけ、自分と向き合うことで社会貢献ができる人材になれることへの理解	・主体的に行動し、他者と協働し、課題を解決しようとする意欲や態度 ・自己と向き合い、粘り強く挑戦する態度 ・広い視野を得ようとする意欲や態度	・地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる技能 ・複数の情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能	
活動別	・多様な考え方や感じ方をする他者と協働する活動の意義や活動上の留意点についての理解 ・自分自身の能力や適性についての理解	・異なる感性を持った集団内で他者と協働しながら様々な解決の方法を模索したり折り合いをつけたりしようとする態度 ・主体的に関わろうとする意欲や態度	・多様な他者を認め、助け合ったり協力し合ったり自ら進んでコミュニケーションを図る技能	